

**TOPPAN**

**TOPPAN株式会社**  
TOPPAN Inc.

**クラスアートストーン（内装用）**  
Class Art Stone



登録番号

SuMPO-EPD-2511-24-1

検証合格日

2025 / 11 / 10

公開日

2026 / 1 / 12

検証有効期間

2030/11/9

EPDタイプ

グループ製品EPD

※更新された場合は初版公開日

追加の準拠規格

ISO21930:2007準拠

EPDは検証期間であっても、更新または公開が中止となることがあります。

EPDの最新版および有効性を確認するには以下を確認してください。

<https://ecoleaf-label.jp/epd/search>

## ●基本情報

### > プログラム情報

プログラム名称	SuMPO環境ラベルプログラム
プログラムオペレーター	一般社団法人サステナブル経営推進機構
所在地	東京都千代田区内神田1-12-8 KANDA SQUARE GATE 4F
ウェブサイト	<a href="https://ecoleaf-label.jp">https://ecoleaf-label.jp</a>

### > GPI・PCR情報

GPI	SuMPO EPD Japan General Program Instructions v.2.0.1
PCR名称	壁紙
PCR登録番号	PA-134610-BI-04
PCR認定日	2023/9/1
レビューパネル委員長（所属）	神崎 昌之
PCR有効期限	2028/8 /31
PCR発行者	一般社団法人サステナブル経営推進機構

### > 検証情報

検証の種類	ISO14025及びISO21930:2007に従った第三者検証		
	<input type="checkbox"/> 内部 登録検証員による 第三者検証	<input checked="" type="checkbox"/> 外部 検証機関による 第三者検証	<input type="checkbox"/> EPDシステム認証 による第三者検証
検証機関（検証実施者）	奥山 哲也		

### > 準拠規格

準拠規格	<input checked="" type="checkbox"/> ISO14040:2006	<input checked="" type="checkbox"/> ISO14044:2006	<input type="checkbox"/> ISO14067:2018
	<input checked="" type="checkbox"/> ISO14025:2006	<input checked="" type="checkbox"/> ISO21930:2007	<input type="checkbox"/> ISO21930:2017
	<input type="checkbox"/> EN15804+A2	<input type="checkbox"/> EN50693:2019	<input type="checkbox"/> ISO/IEC63366:2025

EPDに記載の情報及びEPDに記載の情報に関する環境主張についての一切の責任はEPD取得事業者が持ちます。EPDの内容に関するご不明点、確認事項については、EPD取得事業者までお問い合わせください。

EPDの比較は、建設製品の機能を十分に考慮した上で実施されなければならないため、建設製品における建材のライフサイクル全体を考慮し、建設製品において同等の用途を想定したシナリオを適用している必要があります。EPDの比較の際に考慮すべき条件は本宣言が使用するPCRを参照してください。

EPDが宣言単位に基づいている場合、比較は機能単位あたりで行われなければなりません。

環境影響評価結果はあくまで相対的な数値です。数値の大きさにより環境への影響を一概に結論づけられるものではありません。また、算定した数値は環境への具体的な影響の大きさや安全性（閾値を超過しているか等）、リスク評価（環境や人間にどれだけの影響を及ぼすか等）を直接示すものではありません。

加重平均を用いた算定の場合、ライフサイクル影響評価結果及びライフサイクルインベントリ分析関連情報、廃棄物関連情報、出力フローに関する環境情報は、特定の製品についての情報ではありません。

## ●EPD取得事業者情報

事業者名・部署名	TOPPAN株式会社 環境デザイン事業部
住所	東京都文京区水道1-3-3
問い合わせ先	0480-48-3411
LCA算定実施者（所属）	鈴木一輝（環境デザイン事業部）
事業者概要	<p>[業態] 当事業部では印刷技術を活用した高意匠・高機能化粧シート、不燃化粧パネル、内・外装材などを生産し、販売しております。またグループの総合力を活かした空間提案・設計・施工等の事業も行っております。</p> <p>[規模感] TOPPANグループ全体では約5万人</p> <p>[製造拠点] 当事業部では国内は埼玉県幸手市と千葉県柏市、海外では北米と欧州に製造拠点を有しております。 国内外の協力会社と連携した製造ネットワークも充実しております。</p>

## ●製品情報

製品名称		クラスアートストーン（内装用）	
製品の型式		パラディソグラニット/グレイニーコンク/ サンドストーン / トシュタスレート/大谷石NEO/ シルバーシャドウ/ ジュラストーン/アウリジーナフィオリート/マンゴーウッド	
製品仕様	製品機能	壁面用シート材	
	製品質量	1.80 kg/m2	換算係数 1.80 kg/m2
	製品の用途	壁面用シート材	
	技術性能	陶磁器質タイル下地やモルタル下地等、法定不燃材料との組み合わせで、不燃が必要な用途にも施工が可能です。	
耐用年数	年数	20年以上	
	使用条件	屋内壁面	
	年数を設定した根拠	SWOM耐候試験で2000時間をクリア。 同じ試験をクリアしている類似商品で販売後30年を経過して、大きなトラブルが発生していない	
製造サイト（製造拠点）		2	
製品概要		<p>【商品概要】 精巧な印刷技術によって、天然石の質感を忠実に再現した壁面用シートです。経年劣化しやすい「大谷石」など、貴重な天然石目調をラインナップしています。</p> <p>【基本寸法】 900mm × 600mm × t1~3mm</p> <p>【主要製造サイト】 ・TOPPAN 柏工場 ・TOPPAN 協力工場（長野県）</p> <p>【展開色柄】 パラディソグラニット/グレイニーコンク/ サンドストーン トシュタスレート/大谷石NEO/ シルバーシャドウ ジュラストーン/アウリジーナフィオリート/マンゴーウッド</p>	
製品ウェブサイト		<a href="https://forest.toppan.com/products/commercial/classartstone/">https://forest.toppan.com/products/commercial/classartstone/</a>	

## ●材料及び物質に関する構成要素

製品構成要素	割合 (%)	質量
基材	99.2	1.73 kg
インキ	0.5	0.01 kg
トップコート	0.3	0.01 kg
包装材構成要素	割合 (%)	質量
ダンボール	78.7	0.04 kg
緩衝材	21.3	0.02 kg

※ グループ製品EPDの為、全製品の加重平均値を記載

## ●生物由来炭素含有量

項目	含有量 (kg-C)	含有量 (kg-CO <sub>2</sub> eq)
製品あたりの生物由来炭素含有量	—	—
提供元にわたる包装資材の生物由来炭素含有量	—	—

## ●LCA 関連情報

### >EPDタイプ情報

EPDタイプ	製品タイプ	<input type="checkbox"/> 単一製品	<input checked="" type="checkbox"/> グループ製品	<input type="checkbox"/> 業界製品
	サイトタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 特定サイト	複数サイト	
	開示方法	<input type="checkbox"/> 特定値	<input checked="" type="checkbox"/> 加重平均値	代表値 上限値
地理的範囲		A1~A3国内		
複数製品/複数サイトを含むEPDにおける代表性の説明		絵柄の異なる9種についてグループEPDを用いる。絵柄が異なるのみのため、インキ（印刷層）の塗布量が異なる。材料、生産工程については変わらない。		
複数製品/複数サイトを含むEPDにおける、算定結果の上下幅に関する説明		絵柄の異なる9種類の内装クラスアートストーンについて。 インキの塗布量は絵柄によって異なるが、他の材料構成、生産フローは全く同じ。 インキの塗布量に関わる部分を変更し計算をした。 計算をした結果いずれの環境特性について±10%以内に収まった。		
複数製品EPDの説明		絵柄の異なる9種を展開している		

### >LCA関連情報

宣言単位	m2		
宣言単位当たりの質量 (質量への換算係数)	1.80kg/m2		
基準フロー（機能単位を満たすために必要な製品数）	-		
システム境界	<input checked="" type="checkbox"/> Cradle-to Gate	<input checked="" type="checkbox"/> Cradle-to-Gate with options	<input type="checkbox"/> Cradle-to-Grave
LCAソフトウェア	MilCA for EPD		
LCIデータベース	IDEA Ver3.1		
特性化モデル	気候変動：IPCC第6次評価報告書(IPCC,2021年)、その他の影響領域：LIME2		
その他のバックグラウンドデータ	-		
二次データ品質	GPIに規定の二次データ品質を満たしたデータを用いて算定を行った。		
一次データ収集拠点	弊社並びに弊社協力工場		
一次データ収集期間	2024年4月～2025年3月		
生物由来炭素の取り扱い	<input checked="" type="checkbox"/> 0/0アプローチ	<input type="checkbox"/> -1/+1アプローチ	
電力契約に関する情報	有無	<input checked="" type="checkbox"/> 国や地域の平均的な電力ミックス	<input type="checkbox"/> その他
	種類	-	
	購入日	-	
	発行元	-	

### >算定対象段階

資材製造段階			施工段階		使用段階							解体段階				境界外
					資材関連					光熱水関連						
A1	A2	A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
原材料の調達	工場への輸送	製造	現場への輸送	施工	使用	維持保全	修繕	更新	改修	エネルギー消費	水使用	解体・撤去	廃棄物の輸送	中間処理	廃棄物の処理	潜在的な負荷と便益
■	■	■	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

■：算定対象    -：算定対象外

## &gt; アロケーション

-

## &gt; カットオフ

PCRに記載のカットオフ項目 以外のカットオフは無し

## &gt; システム境界

PCRに定められている「壁紙製造工程」まで（PCR附属書AのプロセスA1～A3段階）をシステム境界とした。  
詳細は下記の「ライフサイクルフロー図」に記載

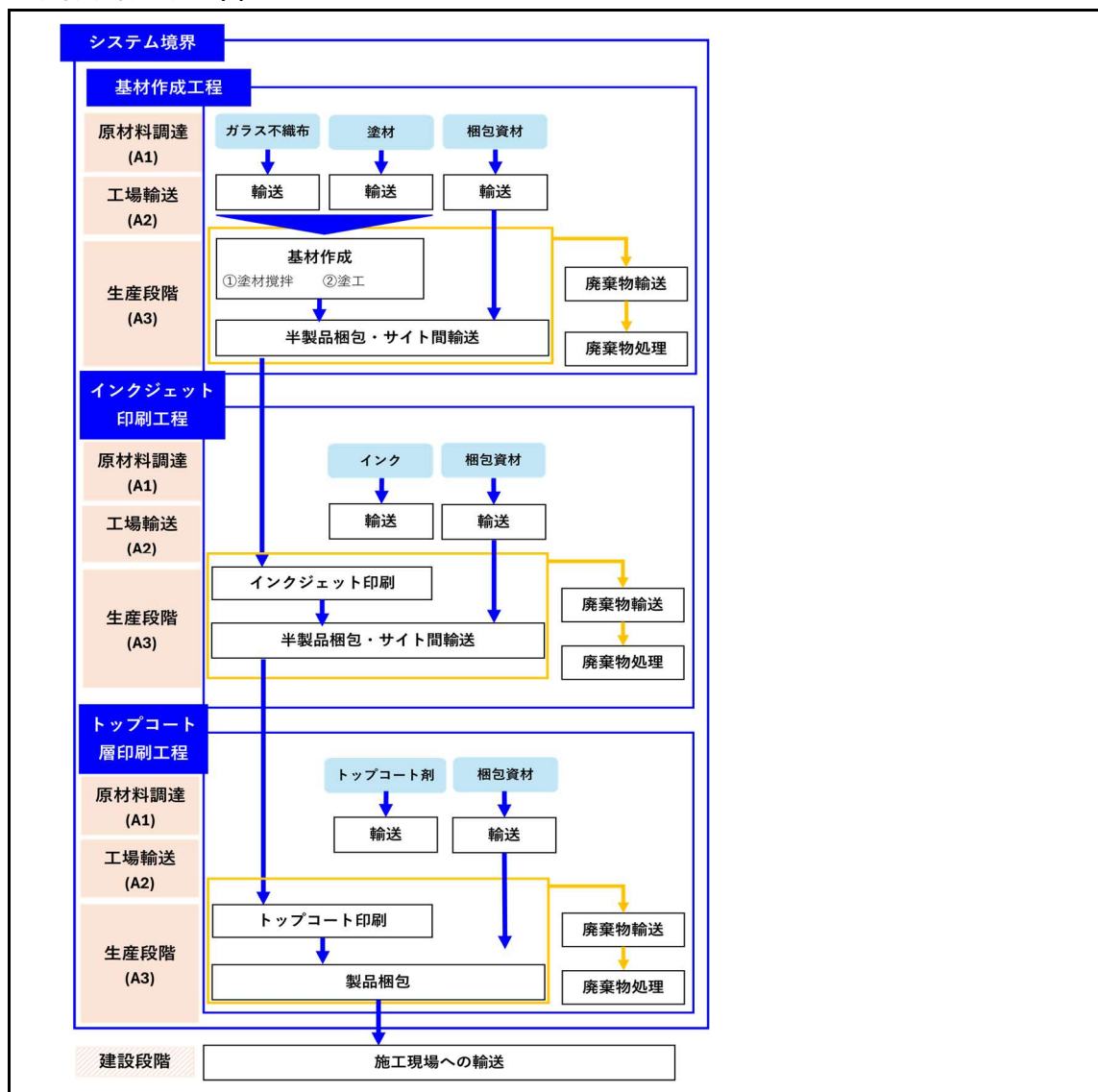
## &gt; シナリオ

モジュール	説明
【A2】 工場への 輸送	PCR附属書B 輸送シナリオを用い原材料の輸送を算定
【A3】 生産段階	PCR附属書B 輸送シナリオを用い廃棄物の輸送を算定

## &gt; 電力モデリング

MilCA for EPDに組み込まれている原単位「電力, 日本平均, 2018年度」を用い算定した

## &gt; ライフサイクルフロー図





Environmental Product Declaration for **Class Art Stone**

## ●算定結果

## &gt; ライフサイクル影響評価結果

		【A1】原材料の調達	【A2】工場への輸送	【A3】製造	-	-	D 境界外
気候変動	kg-CO <sub>2</sub> eq	5.59E+00	1.02E+00	1.17E+00	-	-	-
オゾン層破壊	kg-CFC-11eq	8.23E-07	1.38E-11	2.82E-07	-	-	-
酸性化	kg-SO <sub>2</sub> eq	4.72E-03	2.57E-03	1.17E-03	-	-	-
都市域大気汚染	kg-SO <sub>2</sub> eq	3.37E-03	1.13E-03	8.84E-04	-	-	-
光化学オキシダント生成	kg-C <sub>2</sub> H <sub>4</sub> eq	7.57E-05	8.17E-06	2.23E-05	-	-	-
有害化学物質(発がん性)	kg-C <sub>6</sub> H <sub>6</sub> eq	1.50E-03	5.10E-06	1.17E-04	-	-	-
有害化学物質(慢性)	kg-C <sub>6</sub> H <sub>6</sub> eq	3.39E-05	3.31E-06	3.87E-06	-	-	-
水生生態毒性	kg-C <sub>6</sub> H <sub>6</sub> eq	1.20E-02	1.63E-07	2.47E-03	-	-	-
陸生生態毒性	kg-C <sub>6</sub> H <sub>6</sub> eq	1.43E-01	2.69E-06	5.67E-02	-	-	-
富栄養化	kg-PO <sub>4</sub> <sup>3-</sup> eq	5.02E-04	1.05E-11	1.40E-05	-	-	-
土地利用(維持)	m <sup>2</sup> /年	8.01E-01	3.34E-02	6.67E-03	-	-	-
土地利用(改変)	m <sup>2</sup> /年	6.32E-03	6.68E-04	1.77E-04	-	-	-
資源消費	kg-Sbeq	7.92E-05	4.26E-06	9.07E-06	-	-	-

## &gt; ライフサイクルインベントリ分析関連情報

		【A1】原材料の調達	【A2】工場への輸送	【A3】製造	-	-	D 境界外
非再生可能資源	kg	8.55E+00	1.03E-06	1.62E-02	-	-	-
非再生可能エネルギー	kg	1.72E+00	3.13E-01	4.39E-01	-	-	-
非再生可能エネルギー	MJ	6.76E+01	1.40E+01	1.82E+01	-	-	-
再生可能資源	kg	4.28E-01	2.61E-07	2.31E-03	-	-	-
再生可能エネルギー	MJ	1.14E+01	3.56E-04	7.31E+00	-	-	-
淡水の消費	m <sup>3</sup>	2.79E-01	2.09E-05	5.34E-04	-	-	-
排出, CO <sub>2</sub> (化石資源由来), 大気, 不特定	kg	4.25E+00	9.81E-01	1.13E+00	-	-	-
資源, 原油, 44.7MJ/kg, 陸域, 非再生可能エネルギー	kg	5.41E-01	3.07E-01	3.48E-02	-	-	-
排出, 揮発性有機化合物, 大気, 不特定	kg	1.44E-08	8.05E-15	1.30E-09	-	-	-

## &gt; 廃棄物関連情報

		【A1】原材料の調達	【A2】工場への輸送	【A3】製造	-	-	D 境界外
有害廃棄物	kg	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	-	-	-
無害廃棄物	kg	2.82E-02	8.90E-09	2.31E-04	-	-	-
一般廃棄物 埋立物	kg	1.37E-09	1.44E-17	6.06E-13	-	-	-
産業廃棄物 埋立物	kg	2.8E-02	8.9E-09	2.3E-04	-	-	-

※ライフサイクルにおける廃棄物量を示しています。

## &gt; 出力フローに関する環境情報

		【A1】原材料の調達	【A2】工場への輸送	【A3】製造	-	-	D 境界外
再利用可能な部品	kg	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	-	-	-
リサイクル用材料	kg	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	-	-	-
エネルギー回収用材料	kg	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	-	-	-
廃棄物からの排出エネルギー (エネルギー回収効率≧60%)	MJ	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	-	-	-
廃棄物の焼却 (エネルギー回収効率<60%)	MJ	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	-	-	-
埋立処分廃棄物/回収埋 立地発生ガス	MJ	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	-	-	-

## &gt; LCA算定結果に関する説明

- ・輸送シナリオはPCRに準拠して算出した。
- ・使用段階は算定対象外であるため含まれていない。

## ●追加環境情報

## &gt; LCAに関連しない追加環境情報

-

## &gt; 有害物質に関する情報

有害物質名	CAS No.	適用される基準または規制の参照
-	-	-
-	-	-
-	-	-

## 建材および建設製品からの危険物質の放出

-

## ●用語の定義

-

## ●参考文献

- ・ISO14025:2006 Environmental labels and declarations — Type III environmental declarations — Principles and procedures
- ・ISO14040:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Principles and framework
- ・ISO14044:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Requirements and guidelines
- ・ISO 21930:2007 Sustainability in building construction — Environmental declaration of building products